



動物ふれあい教室

開催しました！

当所では、動物ふれあい教室を毎年開催しています。本教室は県動物愛護センター（黒川郡富谷町）の協力を得て、幼い子供達が子犬やウサギ等の動物達とふれあうことを通して、生命の大切さや動物の適切な取扱い方等を学ぶことを目的としています。



今年は9月15日（火）に気仙沼市唐桑町の若草幼稚園にて開催し、23名の園児達が動物の扱い方の説明を受けた後、犬、ウサギ及びモルモットに触れたり、餌を与えたりしました。ふれあい後には園児達から「楽しかった、また遊びたい。」といった感想が寄せられました。来年も開催します。お楽しみに！

☆ 産廃協クリーンアップ活動 ☆



9月26日（土）に、宮城県産業廃棄物協会県北支部気仙沼協議会の皆さんが、唐桑地区の海岸漁港で清掃活動を実施されました。

皆さんさすがプロフェッショナル！大きな流木も手際よく回収されていました。回収したゴミは会員の皆さんが手分けして適切に処分されたと同っております。

「地域に貢献を！」と今年から始まったクリーンアップ活動は、これからも継続される予定です！！

祝 100 歳 高齢者訪問

毎年老人の日の9月15日（火）から9月21日（月）までは老人週間とされています。

老人週間に合わせて、当所でも今年度中に新百歳となられる方28名を訪問し、



(写真：気仙沼市 森 ほのへ 様)

多年にわたり社会の発展に寄与されてきたことへの感謝の念をこめて、国と県からの祝状とお祝い品をお届けに伺いました。

御長寿の秘訣をお聴きしたところ、「水」、「食事」、「運動」が大事との御回答が多く、日ごろの生活の大切さをあらためてお教えいただきました。

コラム ノロウイルスにご注意！！

冬到来、ノロウイルスの季節です。ノロウイルスは冬場に食中毒や感染性胃腸炎の原因として猛威をふるいます。特に今冬は大規模な流行が予測され注意が必要です。



ノロウイルスの主な症状は、嘔吐、激しい下痢、腹痛などです。乳幼児や高齢者の場合、脱水症状にも注意が必要です。下痢等の症状がないのに便からノロウイルスを排出する健康保菌者は知らないうちに汚染を拡大しますので全員で予防に取り組むことが大切です。

予防には食品の十分な加熱（85℃～90℃、90秒以上）、調理器具や台所、トイレの次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効ですが、一番大切な予防は手洗いです。食事の前、トイレの後、外出から帰った時は必ず手を洗いノロウイルスを予防して楽しく冬を過ごしましょう♪

この人に聞きたい!

このコーナーでは、管内の保健福祉や環境衛生関係の活動・業務に取り組む方からお話を伺います。

南三陸町でこれまで「燃やせるごみ」として焼却処分していた「生ごみ」を資源として有効活用するために液肥化する事業が始まりました。

今月は、事業のキーマンとなるアマタ株式会社榎田様、南三陸町環境対策課小山課長からお話をいただきました。

【アマタ株式会社】

環境戦略支援機能グループ

南三陸BIOチーム

ユニットリーダー

～ 榎田 豊久 様～



始まりは東日本大震災でした。会社でボランティア活動を展開した南三陸町とのご縁をきっかけに「地域循環モデル」づくりを開始することとなりました。

当社のミッションは「持続可能社会の実現」です。南三陸町で大量生産・大量消費の次の時代を目指していく第1歩として、10月に家庭生ゴミから液肥とエネルギーを生みだし、利活用する施設の稼働を開始しました。町民の皆さまの生ゴミ分別は異物混入率「0.5%！」意識の高さに「すごい」の一言です。

先日はお手本にしたいと海外から要人が来町されました。これからも町民の皆さまと協力し合いながら100%資源循環を目指し、「誇りを持てるまちづくり」へのチャレンジを続けていきたいと思えます。

【南三陸町】

環境対策課長

～ 小山 雅彦 様～



10月19日(月)から、町内の一般家庭から出る「燃やせるゴミ」として焼却処分していた「生ごみ」を分別収集し、発酵処理することでバイオマス資源として活用する取組みを始めました。

町内に焼却炉がなく他市にゴミの焼却を委託していることや、震災直後に町内にはエネルギー資源がなく、インフラがストップした切ない経験があったことなどから今回の取組みに至りました。国内の自治体でも例が少ない取組みで町民の方のご協力が必要不可欠です。このエネルギーには電気やガスなどはもちろん、液肥を生成しその液肥を活用した作物をブランド化するなど様々無限な可能性があると思えます。

このプロジェクトをきっかけに今まで以上に人と環境にやさしく災害に強いまちづくりをしていきたいです。



産業廃棄物不法投棄防止 スカイパトロール

©宮城県・旭プロダクツ

宮城県では年に数回、地上からの把握が困難な地域を中心に、ヘリコプターによる上空からのパトロールを行っています。

11月4日(水)に気仙沼市・南三陸町上空を飛んでいたヘリコプターに、実は当所職員も搭乗しておりました。

幸いながら今回のスカイパトロールでは新たな不法投棄行為等は発見されませんでしたが、廃棄物の不適正処理には早期発見と早期対応が欠かせません。

保健所では、廃棄物の不適正処理をなくすため、これからも「徒歩」で、「車」で、ときには「ヘリコプター」でパトロールを実施していきます。



◆ 原子力防災訓練 ◆

10月30日(金)に宮城県沖を震源とする地震により女川原子力発電所で事故が発生したという想定で原子力訓練が実施されました。

当所職員は主に避難住民に対する、スクリーニング、簡易除染、内部被ばくの測定、問診等の訓練に参加しました。訓練の結果を原子力防災意識の向上につなげていきたいと思えます。

✿ 編集後記 ✿

寒さも本格的になり紅葉も見頃を終えましたが、いかがお過ごしでしょうか。向寒の折柄、ご健康にはくれぐれもお気をつけください。

↓ご感想・ご意見等どしどしお寄せ下さい! ↓

担当：気仙沼保健福祉事務所広報委員会

メール：fukahire@pref.miyagi.jp

(次号は1月の発行予定です。)